

# 遠野旅の産直 だより 第6号



2024年2月発行

令和5年4月から観光施設「とおの物語の館」(遠野駅から徒歩8分程)の指定管理を受けることになりました。それに伴い遠野旅の産地直売所と本部事務所を施設内の「旧赤羽蔵」に移転・統合しました。今後は、スタッフ一同でグリーン・ツーリズムを通じた地域づくりや観光施設の運営・管理、遠野旅産直での観光物産販売業務等を行ってまいります。更にグリーン・ツーリズムの醍醐味である「ありのままの暮らしを楽しむ旅」をキーワードにし、事業を推進していきます。



## 令和5年度は旅行者が続々♪ 遠野でグリーン・ツーリズムを体感!!

### 【令和5年度 教育旅行好調】 地域の魅力や暮らしが交流の源!

5月から教育旅行が始まりました。多くの民泊家庭に協力をいただき、例年以上の受け入れをすることが出来ました。ありがとうございました。

春から秋にかけて首都圏や宮城、県内の中学校が訪れました。今冬は台湾からの教育旅行が遠野を訪れます。

遠野のありのままの暮らしを体感しながら、交流を通してお互いに楽しめる活動となるようにコーディネートしていきます。皆様よろしくお祈りします。



受け入れの様子

### 【個人旅行や視察研修好調】

夫婦や家族、知人等の小グループで遠野を訪れて農家民宿での宿泊や集落散策やサイクリング、まちぶらの日帰り体験をする旅行者が増えています。口コミでの紹介やWEBサイト検索で予約されてくる方も増えています。また、国内はもちろん海外の旅行者が各農家民宿に宿泊するなど、令和5年度は遠野のグリーン・ツーリズムの受け入れ者数は堰を切ったように増えています。



棚田サイクリング

### 【農水省 RMO 事業】 住民の参画が地域の元気の源となっていく!

農村RMO事業とは、土淵や関係機関、市の方々と共同しながら地域課題の解決に向けた取組を持続的に実践することです。「遊休農地活用やメロンの新規栽培」「買い物支援や炭窯づくり等のスモールビジネスの支援」「旧土淵中学校の教室活用(日替わりシェフのレストラン、わらや竹細工・ポップ和紙の後継者育成・作業グループ作り)」「農泊推進事業」「移動販売による買い物支援」など実証を重ねてきました。



レストラン活用の様子

### 【地域おこし協力隊角田静花さん】 山里ネット初!!

今年の4月から山里ネットとして地域おこし協力隊を受け入れることとなりました。秋田の農家民宿に泊まったことをきっかけにグリーン・ツーリズムに関心を持った岩手県雫石町出身の角田静花さん(34)。職員として、遠野昔話語り部講座の開催や学生のツアー企画、土淵の市民農園の事業などを担当。市民農園の規模を拡大して、遠野のグリーン・ツーリズムを県外・海外向けにPRしていく業務に従事。



角田さん

### 【令和5年度「オーライ!ニッポン大賞」「地域再生大賞」受賞】

20年来発展的に遠野のグリーン・ツーリズムに取り組んできたことが評価され、「第19回 オーライ!ニッポン大賞(まちむら機構主催、審査委員長養老孟司)『オーライ!ニッポン大賞』」を受賞。また、「第14回地域再生大賞(共同通信社主催、選考委員長東洋大学沼尾波子教授)」において「北海道・東北ブロック賞」を受賞することができました。この賞を励みに市内の皆さんとともに引き続き活動していきます。



審査委員長、養老孟司氏より授与

### 【グリーン・ツーリズムの仲間広がる】 遠野民泊協会 18年目

岩手県のガイドラインに沿って教育旅行の体験民泊を受けるために発足した遠野民泊協会も設立18年。ここ数年は、協会の方から紹介される等入会する方も数名おり、遠野市内にグリーン・ツーリズムの環が広がっております。また、国内外の旅行客の受入れをするためには「旅館業」もしくは「民泊新法」を取得する必要があります。令和5年度は上郷の菊池恵さんが「うさぎとことり」という屋号で民泊新法を取得しました。



令和5年度民泊協会

### 【日々の旅産直】

山里ネットは設立20年となりました。令和5年度は旅行者や事業も増え、地域おこし協力隊の角田さんも加わりました。JICA 協力隊派遣前の実習生を3ヶ月受け入れるなど、多様な人材で多様な取り組みを引き続き行っていきます。



遠野の旬の旅を随時販売中

遠野旅産直

